

# シリーズ部署紹介 病院をささぐえるひとびと

病院の主な目的は病の治療。そして病院という場所には、その治療をさまざまなかたちで支えているひとびとがいます。

今回の人々  
地域連携課



済生会宇都宮病院では、「連携医制度」により、診療所の先生方と連携して、より充実した医療を提供できるよう努力していきます。



↑1階エントランスホールに連携医療機関を掲示しています。



↑連携医療機関の情報が掲載されたリーフレットは総合案内でお渡することができます。

病診(病)連携とは、「病院」と「診療所」もしくは、「病院」と「病院」が連携して患者さんの診断治療にあたるということです。これは、地域の医療機関が相互に連携することによって、個々の患者さんを総合的かつ継続的にケアし、真に患者さんのための医療を目指すものです。

私たちが地域連携課は、より良い「病診連携」ができることを目指した部署になります。各医療機関がお互いに連携をすることによって患者様に安心と満足を提供すること等を業務としています。

## 主な業務の紹介

### ●地域連携業務

他施設(病院や診療所等)からの紹介患者様が適切に診察できるように致します。

当院から他施設への受診等の調整をいたします。

連携医制度により、他施設との情報交換を密にし、より良い病診連携を実施いたします。

### ●医療相談業務

患者様ご自身はもちろん、ご家族にも生じる様々な悩みや問題を解決できるよう専門の職員(医療ソーシャルワーカー)がご相談に応じます。

例：医療費等の経済的な不安に関する相談、退院後の生活に関する相談等

地域における各医療機関の専門性や特性、および患者様の身近な地域で患者様の症状にあった適切な医療を効率よく受診できるよう今後も努力していきたいと考えております。